東御市／企業版ふるさと納税・寄附募集

日本ワインの未来を創るプロジェクト

100年先まで続くブドウ栽培を、長野県東御市から！

長野県東御市にある「千曲川ワイン イノベーションセンター（CWIC：シーウィック）」を拠点に、気候変動に対応した病害に強いブドウを日本全国へ広め、世界に通用する日本ワイン産業を育てるプロジェクトです。

日本ワインの未来へご支援をお願いします

«なぜ、いま支援が必要か？»

気候変動が進むなか、日本の風土に適した多様な品種の「ウィルス検査済み苗木」を安定供給する仕組みづくりが必要です。

寄附金の主な活用先

① 海外産の優良品種の導入・保存
② 「千曲川ワイン イノベーションセンター（保管・研究施設等）」の整備
③ 調査研究・安定供給体制の構築

耐病性・豊産性などを有する海外産の優良品種の普及

欧州などで育成・選抜された優良な品種を導入し、日本の気候や風土に適した品種を見定め、全国へ普及していきます。

＜ 日本唯一 ＞ ワイン用ブドウの研究施設等「千曲川ワイン イノベーションセンター」

海外から輸入した苗木を、未来へ受け継ぐライブラリーです。輸入した苗木の母樹を維持・管理し、日本全国へ高品質な苗木を供給する基盤を整備します。

(一社)日本ワインブドウ栽培協会（JVA）との連携

世界各国の優良品種の導入と、日本の気候・風土への適応性に関する調査研究を進めるJVAと連携し、ウィルス検査済の苗木を農家へ安定供給する体制を整えます。

企業のご支援が日本のワイン造りとその産地の未来へ繋がります

企業の寄附 ➡ 優良品種の導入 ➡ 遺伝子資源の保存 ➡ 品種評価、苗木の安定供給 ➡ 世界に通用する産地へ

いただいたご支援は、世界優良品種の導入、「千曲川ワイン イノベーションセンター」の整備や調査研究、高品質な苗木の安定供給の構築に活用します。企業の皆様とともに、日本ワインの未来を支える栽培基盤を築き、世界に誇れる日本ワイン産業の発展を目指し、地域活性化に繋げていきます。

企業版ふるさと納税で、東御市の挑戦をご支援ください。

寄付目標金額 **1億5,000万円**
〈令和８年度 5,000万円〉

お問い合わせ
東御市産業経済部農林課
農産物振興係
TEL ：0268-75-2016
MAIL ：
nousei@city.tomi.lg.jp